

令和元年度 決算報告

地方自治法第243条の3第1項、俱知安町の「財政事情説明書の作成及び公表に関する条例」に基づき、令和元年度の町財政の決算をお知らせします。ここで挙げた数字は、一般会計、特別会計と水道事業会計の令和元年度決算額です。各会計の決算額は、監査委員による関係書類の審査を経て町議会に提出し、9月定例町議会で、審議・認定されました。

また、併せて令和2年度予算の上半期（4－9月）の執行状況をお知らせします。

※金額は万単位で記載するため四捨五入・切り捨て・切り上げをしています

◇一般会計および特別会計 決算額総括表

会 計 名	歳 入 (A)	歳 出 (B)	次年度への繰り越し (C)	実 質 収 支 (A - B - C)
一 般 会 計	99 億 9,715 万円	96 億 5,752 万円	586 万円	3 億 3,377 万円
特 別 会 計	13 億 9,431 万円	13 億 6,013 万円	—	3,418 万円
国民健康保険	5 億 277 万円	4 億 8,210 万円	—	2,067 万円
後期高齢者医療	1 億 7,649 万円	1 億 7,194 万円	—	455 万円
介護保険サービス	309 万円	309 万円	—	0 万円
公共下水道	7 億 336 万円	6 億 9,932 万円	—	404 万円
地方卸売市場	860 万円	368 万円	—	492 万円
全 会 計	113 億 9,146 万円	110 億 1,765 万円	586 万円	3 億 6,795 万円

◇水道事業会計 決算額総括表 ※詳細な数値は町水道課にて決算書をご覧ください

—— 収益的収支（水道水を各家庭に送るための費用）—— —— 資本的収支（施設の建設・改良のための費用）——

収入（消費税除く）		支出（消費税除く）		収入（消費税込み）		支出（消費税込み）	
区 分	決算額	区 分	決算額	区 分	決算額	区 分	決算額
水道料金	2 億 7,687 万円	人件費※	5,905 万円	企業債	1 億 4,300 万円	建設改良費	2 億 8,050 万円
他会計負担金	420 万円	減価償却費	1 億 947 万円	工事負担金	1,292 万円	企業債償還金	8,261 万円
その他収益	9,892 万円	維持管理費	5,833 万円	他会計負担金	2,924 万円	計	3 億 6,311 万円
計 (a)	3 億 7,999 万円	支払利息	1,394 万円	不足額（補てん財源）	1 億 7,795 万円		
		その他	4,842 万円	計	3 億 6,311 万円		
		計 (b)	2 億 8,921 万円				
		経常利益 (a-b)	9,078 万円				

※人件費は非常勤職員分除く

主 な 事 業

令和元年度に実施した事業の一部とその決算額を紹介します。



●一人ひとりを大切にするまち

地域医療体制の整備事業	1 億 2,582 万円
予防接種事業	3,246 万円

●子どもが心身ともに健やかに育つまち

子ども・子育て施設型給付	3 億 1,264 万円
小学校英語教育委託事業	2,546 万円
母子検診事業	1,805 万円

●やる気いっぱいのもち

G20 観光大臣会合推進事業	3,337 万円 ^A
農業振興事業	2,049 万円
商店街活性化事業補助金	1,380 万円

●安全に暮らせるまち

街路防犯灯設置・維持費補助金	965 万円
住宅改修助成金	880 万円
防災施設整備事業	570 万円
防犯カメラ設置事業	298 万円 ^B

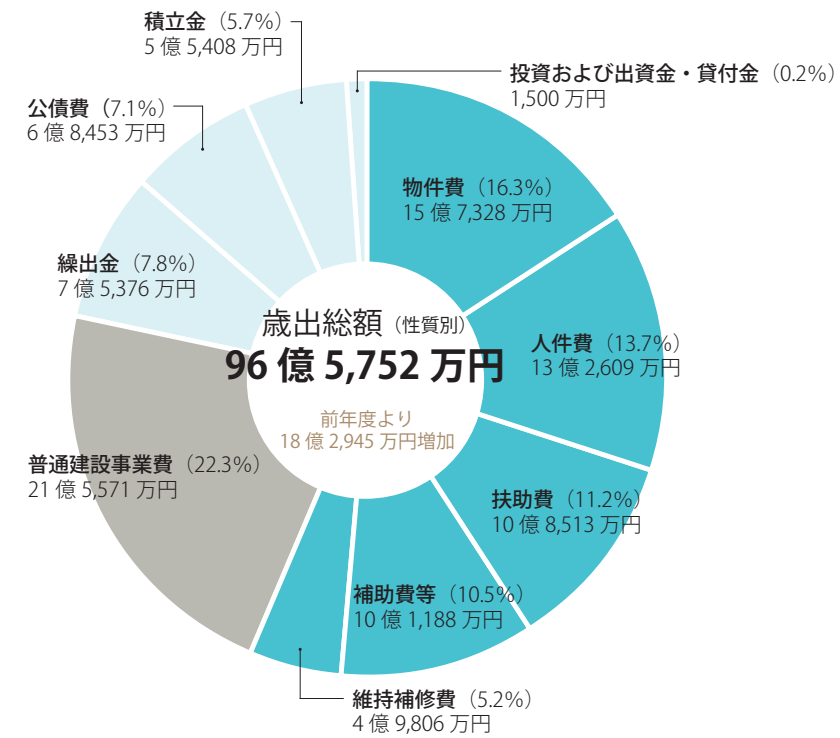
●人と人とのつながりがあるまち

社会教育 青少年教育事業	1,056 万円 ^C
美術館 20 周年記念特別展事業	146 万円

●次の世代に引き継げるまち

北海道新幹線推進事業	4 億 6,369 万円
役場庁舎建替事業	4 億 3,415 万円 ^D
除雪対策事業	4 億 2,918 万円
道路改良修繕及び橋りょう維持補修事業	2 億 3,295 万円

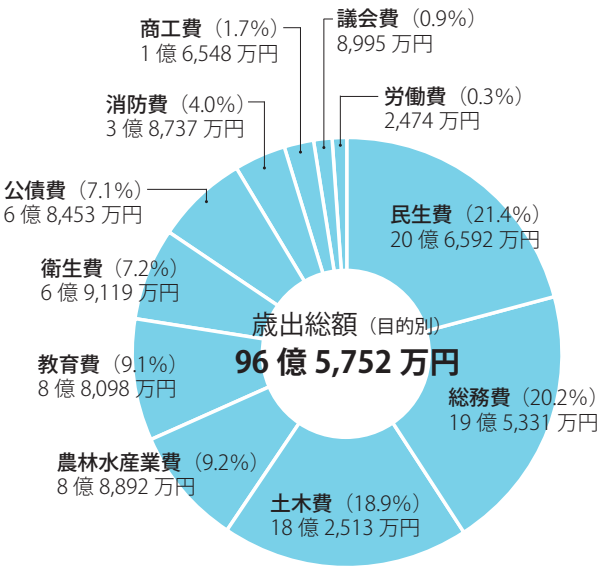




消費的経費 54 億 9,444 万円 ※円グラフの（ ）内の数字は構成比
支出の効果が単年度、極めて短期間で終わるもので投資的経費以外の経費

投資的経費 21 億 5,571 万円
支出の効果が資本形成に向けられ、道路や施設など将来残るものに支出される経費

その他経費 20 億 737 万円
消費的経費、投資的経費にあたらぬ経費



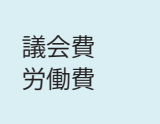
※円グラフの（ ）内の数字は構成比

役場庁舎建替事業などの大型事業により歳出総額が増加

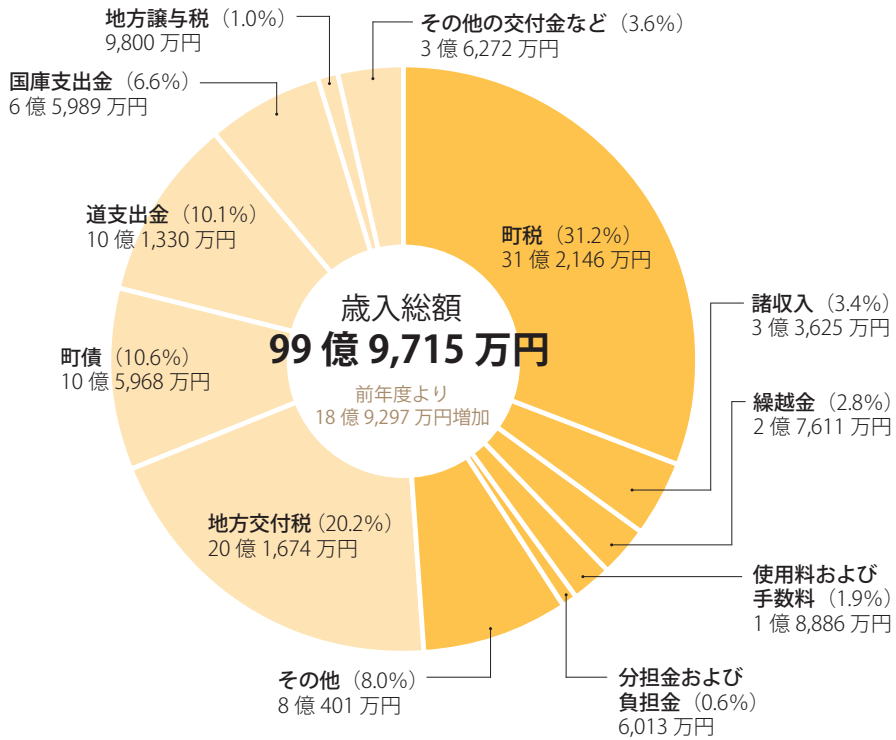
歳出総額は、前年度に比べ約 23.4%、約 18 億 3 千万円の増となりました。
消費的経費は、ふるさと納税の納税額増加に伴い、ふるさと納税業務委託費が約 8 千万円、G20 観光大臣会合に係る関連事業経費で約 2,600 万円増加した他、子ども・子育て施設型給付事業で約 4 千万円増加し、全体で約 2 億 6 千万円増加しました
投資的経費は、役場庁舎建替関連事業費が約 4 億 2 千万円増加し、道路改良事業や北海道新幹線建設費負担事業などの大型事業の影響により、前年度と比べ全体として約 12 億 2 千万円増加しました。
また積立金では、役場庁舎建設基金、ふるさと応援基金、財政健全化基金などに積み立てを行い、ふるさと応援基金の増加や新設された宿泊税基金により、全体として約 2 億 7,300 万円増加しました。

今後も事務事業の見直しも含め、効率的・効果的な財政運営に努めます。

町民一人当たりに使われたお金
62 万 2,063 円
(前年度より 13 万 226 円増加)

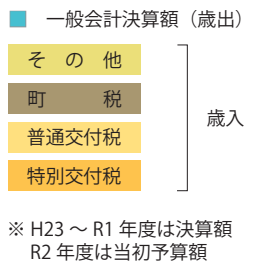
民生費		
		
133,071 円		
総務費	土木費	農林水産業費
		
125,817 円	117,561 円	57,257 円
教育費	衛生費	公債費
		
56,746 円	44,521 円	44,092 円
消防費	商工費	その他
		
24,951 円	10,659 円	7,388 円

※令和 2 年 3 月末現在の人口 1 万 5,525 人から算出



自主財源 = 町が自主的に徴収する財源 ※円グラフの（ ）内の数字は構成比
依存財源 = 国や道から交付される財源

◇一般会計決算額と地方交付税の推移



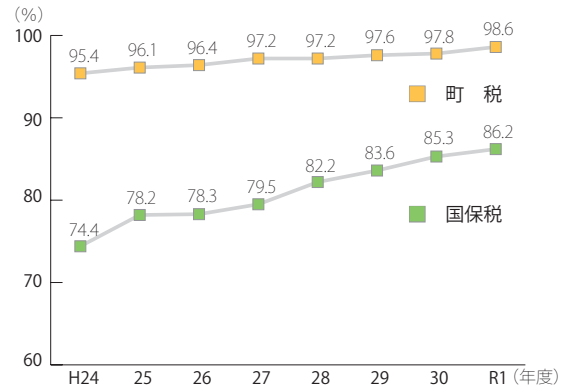
◇町税の内訳

令和元年度	決 算 額	構成比	対前年度増減
固定資産税	13 億 7,604 万円	44.1%	1 億 5,355 万円
町 民 税	12 億 936 万円	38.7%	9,213 万円
町たばこ税	1 億 9,049 万円	6.1%	1,357 万円
宿 泊 税	1 億 7,648 万円	5.7%	1 億 7,648 万円
都市計画税	8,697 万円	2.8%	378 万円
入 湯 税	4,417 万円	1.4%	556 万円
軽自動車税	3,795 万円	1.2%	202 万円
合 計	31 億 2,146 万円	—	4 億 4,709 万円

宿泊税を新設した町税では町民税や固定資産税が増加

歳入総額は、前年度と比べ約 23.4%、約 18 億 9 千万円の増となりました。
主な要因は、大型事業実施に対する道支出金の増加や、財源確保のための町債の増加などが挙げられます。
歳入の主要な柱となる「町税」は、不動産業、観光業を中心とした企業収益が引き続き好調であることなどによる町民税の増加や新築住宅件数が増えたことによる固定資産税の増加、また新設された宿泊税により約 4 億 4,700 万円の増加となりました。
町税と並んで大きな割合を占める地方交付税については、町税の伸びが大きかったこともあり、約 4,700 万円減少しました。
また、町税と国保税の収納率はここ数年、上昇傾向です。
引き続き、限られた財源を有効に配分しながら健全な財政運営を進めます。

◇町税と国保税の収納率の推移



データから見る 財 政

令和元年度決算を基に「財政健全化法」の規定による財政の健全化判断比率を算定した結果、当町の財政状況はいずれの指標においても健全であるという結果が出ました。



土地 1,667 万 5,611㎡ 建物 12 万 7,471㎡
公営・公共用地 23% 山林・原野など 77%
(対前年度 1 万 137㎡減) 庁舎・公営住宅など 171 棟
(対前年度 570㎡減)

基金（貯金）
19 億 4,697 万円
(対前年度 2 億 7,118 万円増)

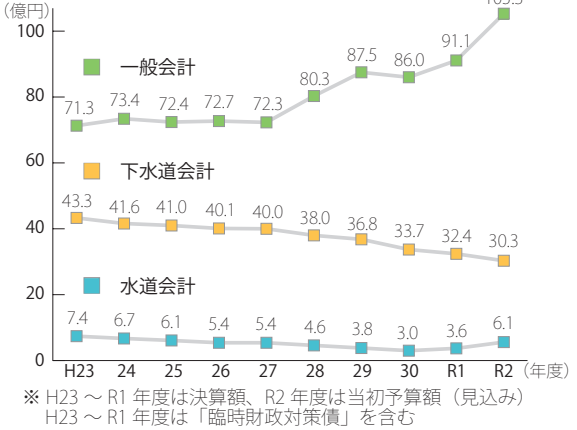
貯 金 と 借 金

令和元年度は、各種事業にふるさと応援基金（貯金）を活用した他、役場庁舎建設基金に約 6,200 万円を積み立てしました。
町債（借金）とは、町が大きな事業を実施するにあたり借り入れるお金のことで、令和元年度は新庁舎整備事業に 3 億 7,620 万円、北海道新幹線建設費負担事業に 1 億 50 万円、ノースパークタウン長寿命化等改善事業に 7,610 万円を借り入れた他、道路橋りょう整備事業、各施設除却事業などの財源として借り入れを行いました。また、歳出の公債費によりこれまでの町債の元金償還を進めています。

◇ 町債（借金）残高の内訳

	令和元年度末残高	対前年度増減
公共下水道	31 億 8,145 万円	▲ 1 億 9,001 万円
臨時財政対策債	31 億 4,663 万円	▲ 2 億 5,862 万円
公営住宅	11 億 9,847 万円	▲ 3,849 万円
道路・公園	11 億 90 万円	2 億 6,418 万円
児童福祉施設	10 億 8,270 万円	0 万円
地産地消食育推進施設（学校給食センター）	8 億 2,776 万円	▲ 334 万円
小・中学校	3 億 9,643 万円	▲ 6,556 万円
上水道	3 億 6,299 万円	6,039 万円
農業・林業	1 億 6,101 万円	4,076 万円
その他	11 億 1,279 万円	4 億 8,770 万円
計	125 億 7,113 万円	2 億 9,701 万円

◇ 町債（借金）残高の推移



令和 2 年度予算執行状況

◇ 予算執行状況（上半期 4－9 月）

会 計 名			予 算 額（A）	収入済額（B）	執行率 B / A	支出済額（C）	執行率 C / A
一 般 会 計			133 億 6,435 万円	56 億 4,388 万円	42.2%	56 億 4,191 万円	42.2%
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険 事 業		4 億 8,510 万円	3 億 353 万円	62.6%	2 億 6,304 万円	54.2%
	後 期 高 齢 者 医 療 事 業		1 億 8,403 万円	7,906 万円	43.0%	5,295 万円	28.8%
	介 護 保 険 サ ー ビ ス 事 業		403 万円	251 万円	62.3%	195 万円	48.4%
	公 共 下 水 道 事 業		8 億 4,626 万円	3 億 1,458 万円	37.2%	2 億 8,097 万円	33.2%
	地 方 卸 売 市 場 事 業		600 万円	738 万円	123.0%	74 万円	12.3%
水 道 事 業	資 本 的	収 入	4 億 336 万円	164 万円	0.4%	—	—
		支 出	6 億 4,091 万円	—	—	1 億 5,971 万円	24.9%
	収 益 的	収 入	3 億 7,803 万円	1 億 5,651 万円	41.4%	—	—
		支 出	3 億 1,217 万円	—	—	5,763 万円	18.5%

◇ 令和元年度からの繰越明許事業執行状況（上半期 4－9 月）

会 計 名	繰越予算額（A）	収入済額（B）	執行率 B / A	支出済額（C）	執行率 C / A
一 般 会 計	8,377 万円	586 万円	7.0%	1,087 万円	13.0%

※繰越明許費：事業の性質など、何らかの事由によって、当該会計年度内に支出が終わらない見込のあるものについて、限度額を定め、議会の議決を得て翌年度に限り使用できる予算のこと

町民一人当たりの

貯金 12 万 5,408 円 借金 80 万 9,734 円

※令和 2 年 3 月末現在の 1 万 5,525 人から算出

ふるさと応援 寄 附 金

ふるさと応援寄附金は、まちづくりを応援しようとする人から寄附金を募り、これを財源として各種事業を実施することを目的に平成 20 年度に創設されました。いただいた寄附金は一度基金として積み立て、その後さまざまな事業に有効活用します。

積 立 先	件 数	金 額
ふるさと応援基金	13,569 件	126,166,113 円
教育振興基金	1,299 件	10,400,073 円
	14,868 件	136,566,186 円

これまでいただいた寄附金のうち 3,303 万円を令和元年度のさまざまな事業に有効活用させていただきました。

事 業 名	金 額
・北海道新幹線倶知安駅及び駅周辺整備に関する事業	12,947,000 円 A
・じゃがりん号運行事業	5,199,000 円 B
・統合保育所運営事業	3,536,000 円 C
・国際観光リゾート創出に関する事業	2,835,000 円
・旭ヶ丘スキー場運営事業	2,822,000 円
・ごみ減量化、リサイクル事業	2,772,000 円
・予防接種事業	1,601,000 円
・青少年育成事業	1,000,000 円
・美術館振興事業	200,000 円
・役場庁舎建替事業	85,000 円
・スポーツ振興事業	23,000 円
・八幡幹線排水路改修事業	10,000 円
	33,030,000 円

